



今月の表紙は、4月16日(木)に町民会館センターサークルで行われた子育て支援センター主催のわくわくあそびランドの写真です。幸田と深溝保育園から借りてきた「こいのぼり」が春の青空の中を気持ちよさそうに泳いでいました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujocho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

幸田の民話

「ひめ田」
荻

荻村と横落村の境に、ひめ田というところがあり、その近くには、お浜川(尾浜川)という川が流れています。ここにはこんな話が伝えられています。昔々、荻の下の村に、お浜という名の女の人が流されてきました。なんでも、罪を犯したので、ここに流されて来たのだ、ということでした。そして、荻の稲荷山にそまつな家を建てて、住むようになりました。見れば、顔だちには、なんとなく品の高いお姫さんではありませんか。このお姫さんが、そまつな着物を着て、裏を流れている川で洗い物をしたり、山でたきものをとったりしている姿を見て、いつしか、村の人たちはおいたわしやと、なにくれとなくお世話をするようになりました。そしてその川を、お浜川と呼ぶようになりました。

父母は「きつと心細い思いをしていることでしょう。罪は罪、なにか娘のためになるようなことをしてやることはできないでしょう

か。」といろいろ考えた末、お化粧の費用にということで、田んぼを買い与えました。村の人たちは、この田んぼをひめ田と呼びました。しばらくして、姫は、屋敷の近くにお社を建て、朝な夕なに、ふる里をしのび、お父さんやお母さんの無事や、一日も早く罪が許されるようにとお祈りしていました。ところが、姫は、ふとしたことから病の床にふすようになりました。看病にもかかわらず、病は重くなっていきました。「お父さん、お母さん。先だつ親不幸をお許してください。」という、悲しい声をのこして、息をひきとってしまわれました。心の温かい村の人たちは、なげき悲しむとともに、「なんとお痛わしいことだろう。」と、日ごろお姫さんが使ってみえたかんざしといっしょに、姫のなきがらをねんごろにほうむりました。そして、稲荷山から石を持ってきて、姫をしのび、お墓のしるしとしたということです。

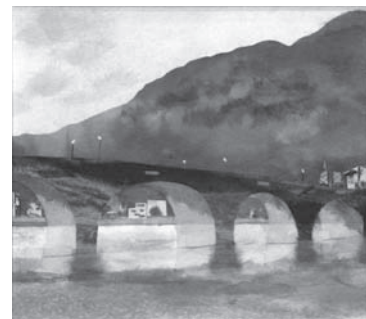
(「こうたの民話」の要約)



【ちぎり絵】

村越 みさと さん

みんなの作品展!



【ちぎり絵】

平松 京子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今月の記念日

5月5日は「わかめの日」

体に良い栄養成分が豊富なわかめを、より多くの人に食べてもらおうと、「日本わかめ協会」が制定しました。

おいしい新わかめが市場に出回るところ、やはり出回る旬の食材がタケノコです。この二つを取り合わせた定番の煮物「若竹煮」など、季節にふさわしい味を味わってもらうことで、わかめの魅力を堪能してほしいという思いも込められています。

わかめに多く含まれている成分といえば、「食物繊維」と「ミネラル」。食物繊維のセルロースは、腸を刺激して動きを活発にし、便が腸に長くとどまるのを防ぐため、大腸がんの予防につながります。

大事なのは、これらわかめの成分を口からバランスよく上手にとること。同協会ホームページには、春のメニューに加えたい「旬の山菜たっぷり五目若竹煮」や、食物繊維たっぷり「わかめと筍の木の茸寿司」、野菜嫌いの子どもや夏バテ予防にもいい「わかめとピーマンのチーズチャーハン」など、わかめを使った簡単レシピが紹介されています。これからの季節にぴったりの味を、味わってみてはいかがでしょうか。

※資料：日本わかめ協会 <http://www.nippon-wakame.com/>



青春トークリレー

△△第194走者△△

やまうち しゅん
山内 俊 さん

岩堀区在住 22歳 公務員

身長 166cm A型

好きなタイプ 笑顔がかわいい人

ほんわかした雰囲気の人

好きな芸能人 綾瀬 はるか

今までに2度「広報こうた」に掲載させてもらったことがあります。

1度目は、小学1年生の昼食時を表紙に、2度目は中学2年生の時に消防署への職場体験のことを載せてもらいました。今回また掲載させていただくことを光栄に思います。

さて、16年間の学生生活を終え、4月から社会人となりました。今までの環境とはがらりと変わり、働いて稼いだお金で生活する立場です。仕事はとても大変ですが、責任感を持って何事にも積極的に取り組んでいきたいです。そして、今まで育ててもらった両親に少しでも親孝行できればいいなあと思っています。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某月某日」

「大草保育園」

お散歩楽しいな!

大草保育園のみんなは、お散歩が大好きです。

「春」は桜の花や、菜の花を見たり、田んぼのあぜ道や土手で「つくし」や「たんぽぽ」を摘んだりします。「つくし」は食べられるよね」と言いながら、たくさん摘み、帰りにはとても嬉しそうにお母さんに渡しています。

「夏」は、小川に「ザリガニ」や、「カニ」をとりに行ったりもします。そこで捕まえてきた小動物は、しばらく大切に飼育をして観察をします。

「秋」は、「コスモス畑を見に行ったり、どんぐりや、しいの果」などを集めたりします。特にどんぐり集めは大好きで、あつという間にお散歩バッグがいっぱいになっていきます。

「冬」でも寒さに負けず元気いっぱいです。歩いていると体がほかほかになってくるのを感じながら歩いていきます。また、春の風が吹き始めた頃には山に登ったりもします。今まで一年歩いて作りあげてきた体力を使い、登りきった時には、「やったー!ゴールしたね。」「楽しかったね」と、とても満足そうにしています。そして何より山の上から見えた景色に「うわー。すごいね。」と感動しています。



子どもたちは身近にある自然を通して日々いろいろな発見をしています。こんな楽しい散歩コースがたくさんある大草保育園、今年はどこに出かけ何を発見できるかとても楽しみです。

編集者のひびく

ちょっと

▼この「編集者のちよつとひとこと」を書いているのが4月中旬です。新年度が始まって間がなく、あわただしい中で広報編集が今年度も始まりました。2年目となりどんな写真が撮れるのが楽しみです。

突然ですが、保育園の娘との会話を紹介します。

娘「ねえ、これ見て!」

父「なにに...折り紙でこのぼりを作ったんだね」

娘「そーだよ。」

父「男の子もがいる家はこのぼりを揚げるんだよ。だから、もしもお兄ちゃん(家は2人兄妹)が女の子だったら、こいのぼりは揚げるいんだよ。」

娘「違うよ。揚げていいんだよ。だって、お父さんは、ばあちゃんの子とも男の子じゃん。」

父「んんん...そつだね...」

今年も子どもたちには登場してもらいます(笑)。

平成21年度も、町民の皆さんに親しまれる「広報こうた」を作っていくかと思っていますので、よろしくお願ひします。

▽生活環境の変化で、5月病が気になる頃、私はRさんの取材写真を見て癒やされています。小学校の入学式の写真を見て、1年生の担任の先生を思い出しました。その先生の大好きな言葉は「一生懸命」。有言実行の先生でした。大人になった今、とても素敵なことだと感じています。

(M)